

DI (Diffusion Index=景気動向指数) とは
各調査項目について、好転企業割合から、悪化企業
割合を差し引いた値を示し、景気の現状把握や将来
の見通し予測を行う。

DIがプラスなら……好転、上昇基調
DIがマイナスなら……悪化、下降基調

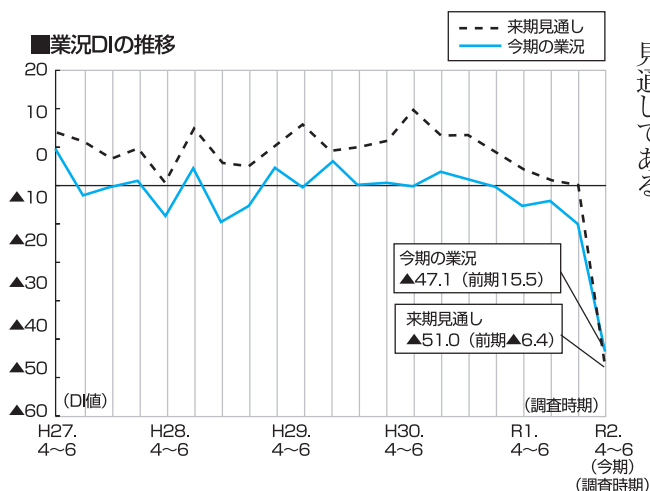
記号の見方

DI値	-25P以下	-25~-10P未満	-10~-10P未満	10~25P未満	25P以上
景況	特に悪化 ↘	悪化 ↘	横ばい →	好転 ↗	特に好転 ↗

鹿児島商工会議所 景況調査

調査期間 令和2年4～6月
回答企業数 104社

■業況DIの推移



見通しである。
平成27年4月期以降で最も厳しい

【来期(令和2年4～6月期)の見通し】
全産業の来期見通しは、▲51・0
(前期比マイナス44・6) ポイントで、
どの産業においても、前期よりも大き
く後退した。産業別では、特に小売業
で厳しい見通しとなっている。
平成27年4月期以降では、最も厳し
い業況DI値となった。
特に小売業、建設業、サービス業の
後退幅が大きい。

今期業況は急激に悪化。

来期もコロナウイルスの影響により厳しい見通し。

■産業別DI値表

		前期 [2020.1~3] (A)	今期 [2020.4~6] (B)	増減 (B)-(A)	来期見通し [2020.7~9]	
業況	全産業平均	▲15.5	▲47.1	▲31.7	▲51.0	↘
	製造業	▲21.7	▲40.0	▲18.3	▲50.0	↘
	建設業	0.0	▲36.8	▲36.8	▲50.0	↘
	卸売業	▲28.6	▲44.4	▲15.8	▲33.3	↘
	小売業	▲20.0	▲62.5	▲42.5	▲77.3	↘
	サービス業	▲14.3	▲45.2	▲30.9	▲43.3	↘
売上額	全産業平均	▲11.6	▲52.9	▲41.3	▲61.8	↘
	製造業	▲30.4	▲40.0	▲9.6	▲80.0	↘
	建設業	12.0	▲52.6	▲64.6	▲52.6	↘
	卸売業	▲26.7	▲55.6	▲28.9	▲50.0	↘
	小売業	4.8	▲61.5	▲66.3	▲79.2	↘
	サービス業	▲21.4	▲48.4	▲27.0	▲54.8	↘
資金繰り	全産業平均	▲9.0	▲41.6	▲32.6	▲43.0	↘
	製造業	▲26.1	▲40.0	▲13.9	▲40.0	↘
	建設業	4.0	▲21.1	▲25.1	▲31.6	↘
	卸売業	▲20.0	▲29.4	9.4	▲17.7	↘
	小売業	▲5.0	▲61.5	▲56.5	▲70.8	↘
	サービス業	▲3.6	▲44.8	▲41.3	▲43.3	↘
採算	全産業平均	▲8.3	▲52.4	▲44.2	▲54.9	↘
	製造業	▲26.1	▲20.0	6.1	▲40.0	↘
	建設業	4.4	▲52.6	▲57.0	▲63.2	↘
	卸売業	▲6.7	▲50.0	▲43.3	▲33.3	↘
	小売業	0.0	▲68.0	▲68.0	▲70.8	↘
	サービス業	▲10.7	▲51.6	▲40.9	▲54.8	↘

【今期の売上額・資金繰り・採算】
全産業の売上額DI値は、▲52・9
(前期比マイナス41・3) ポイン
トと大幅に減少した。特に小売業と
建設業は、急激に後退した。
全産業の資金繰りDI値は、▲
41・6 (前期比マイナス32・6) ポ
イントで大幅に減少した。特に小売
業とサービス業は、急激に後退した。
全産業の採算DI値は、▲52・4
(前期比マイナス44・2) ポイン
トと大幅に減少した。特に小売業と建
設業は、急激に後退した。

【回答企業のコメント】
・コロナウイルスの影響により、三
密を避けるため、セール、イベン
トの打ち出しができないので、正
直厳しい。(小売)
・宿泊を伴う出張作業は中止となっ
ている。また、他県の下請業者に依
頼することができない。(建設)
・コロナウイルスによる4、5月の
イベント中止で売上は大幅減。今
後もイベント中止が予想され不安
(サービス)
・営業活動が全くできないため、顧
客の状況やニーズが把握できない
(製造)
・販促活動が思うようにできない。
(卸売)